学校番号	1009

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	実用の書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	くらしのペン習字（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ペン字(硬筆)と細字（小筆）によるさまざまな実用的な書の書き方を学びます。

・コツコツ地道な練習の繰り返しながら、手書き文字の良さを感じてください。また、身についた書写力を日常生活に生かせるようにしましょう。同時に鑑賞力も高め自分の感性を豊かにしましょう。

2　学習の到達目標

・硬筆と毛筆の両面からペン字と細字(小筆)による多様な実用的な書の書き方を学ぶ。
・身につけた技法を発展させ、書写力の向上を目指し、表現力を高める、日常と将来に生かせるようにする。
・主な実用的書式を学ぶ中で、漢字と仮名の調和や全体構成を学び、主体的に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	・書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	仮名漢字	ひらかな・カタカナ 楷書・行書 なまえ はがき・手紙文	a:正しく整えて(楷書)なめらかに（行書）書くことができる。 b:書式に応じて表現力豊かに書くことができる c:主体的に取り組んでいる	作品	仕上がった作品	制作シート
	暑中見舞い 手紙文	暑中見舞い状(作品) 文化祭に向け手紙文を便箋に書く(硬筆)	a:形式に則り正しく書くことができる。 b:形式をふまえて表現力豊かに制作できる。 c:粘り強く主体的に取り組んでいる。	作品	仕上がった作品	制作シート
2学期	一字書賞状	一字書(はがき大に) 干支を書く 賞状(表彰状)を書く	a:基本的な筆使いができる。 b:毛筆を生かした豊かな表現ができている。 c:主体的に何度も取り組んでいる。	作品	仕上がった作品	制作シート
	年賀状	年賀状(作品) 新入生メッセージカード(作品)	a:書式に則り制作できている。 b:構想力豊かなアイデアで高い表現力で制作できている。 c:主体的に取り組んでいる。	作品	仕上がった作品	制作シート
3学期	巻紙手紙	巻紙に書く(毛筆を使用)	a:書式に則り基本的な書き方ができる。 b:感性豊かに書の技法を取り入れた作品となっている。 c:工夫をしながら主体的に取り組んでいる。	作品	仕上がった作品	制作シート
	まとめ	ふり返り	a:１年間の取組をふり返る。 b:将来への展開を意識したふり返りができている。 c:主体的な取組ができているか。	プリント	成果物	ふり返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度